

2008 年度事業報告

特定非営利活動法人 大阪府民環境会議

< 設立から 2008 年度までの歩み >

2004 年 4 月に団体・個人が集まり設立した OPEN は、5 年を経てようやくネットワークを生かす関係性をつくるに至ってまいりました。具体的には今年度の継続事業の中により広い主体が関わるようになり、2008 年度の重点テーマであった「温暖化防止活動」については、08 年度に動き出した全国および関西のネットワーク型キャンペーンと連動しながら進めることができました。

. 事業期間

2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日

. 事業の成果と課題

2008 年度は「温暖化防止」をメインテーマに活動を進めました。8 月からは **MAKE the RULE** キャンペーンに大阪地域団体として加盟し、秋の「地球をクールに！フォーラム in おおさか」を全国の活動と連動させながら実施しました。また、関西の団体ですすめる「温暖化防止 **COP15 ネットワーク関西**」にも参加、全国・関西・大阪の市民が「コペンハーゲンでの COP15」に向け、つながりあって活動しています。

橋下府政改革を市民の眼から話し合う「市民フォーラム 2008 “ほんまになるで！ECOの都市（まち）おおさか”」フォーラムをネットワークの中で開催することができました。

「共生の森づくり事業」を、企画提案を経て大阪府より受託し、堺第 7-3 区の自然創生に寄与することができました。また、活動を通じ、ワークショップメンバー有志による NPO 法人が設立され、OPEN に加盟、2009 年度からは共に「森 MORI デイ」活動を担っていきます。ホームページを全面的にリニューアルし、「共生の森づくり」、「バスエコファミリー」をはじめ、すべての事業の速やかな情報発信を行いました。

事務局業務のシステム化(ルールづくり)を進めていますが、構築すべき要件が残されています。事務局スタッフ体制が事業規模に比して、不十分で、その主な要因は事務局運営費およびボランティアスタッフの不足にあると思われれます。この面ではネットワークが未だ生かされていないといえます。

. 会員の状況	(2009年3月31日現在)	(2008年3月31日現在)
2008年度会員数	正会員（団体） 22	22
	正会員（個人） 15	13
	賛助会員（団体） 1	1
	賛助会員（個人） 10	11

・事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 地球温暖化防止や地域の環境保全・創造への府民啓発を目的とした教育・広報に関する事業

事業名：OSAKA バスエコファミリーキャンペーン事務局業務

【趣旨・成果・課題】公共交通の利用促進事業推進のために 07 年度に発足した「エコファミリーキャンペーン連絡協議会」の事務局を担い、企業協賛の窓口、各キャンペーンの企画・進行管理を行ないました。このキャンペーンはマイカーを自粛し、公共交通の利用促進で、CO2 を削減して温暖化防止を図り環境負荷を低減するための府民への啓発で「大人 1 人につき小学生 2 人まで運賃無料」を実施するものです。今回で 3 回目になるこの事業は、大阪市交通局が参加しエリアが拡大しました。参加事業者はアクアライナー（大阪水上バス）・大阪市営バス・近鉄・京阪・南海・南海ウイングバス金剛・南海ウイングバス南部・阪急・水間鉄道の 9 事業者。

【内容】

11 月 1 日に大阪市内 6 ヶ所（大阪駅前バスターミナル、八軒屋浜船着場・天満橋、海遊館、天王寺動物園、市立科学館、市立歴史博物館）でのスタンプラリーとアンケートを実施し約 1000 枚のアンケート回収ができました。

11 月 3 日の「2008 さかいっ子環境フェスティバル」会場でのアンケートを実施しました。ブログ「あなたの一押しバスコース」などの投稿窓口を開設しました。

大阪府のゼロ予算のため、府下の小学生全員にチラシを配布することができず学校単位でのポスター配布となり、子どもたちへの PR 不足は否めませんでした。しかし、大阪市交通局の参加と関西鉄道協会の協力により、各鉄道の駅張りポスター掲示や車内刷りにより宣伝範囲が広がりました。

【実施時期】11 月 1 日・2 日・3 日

【事業対象者】一般府民

事業名：地球をクールに！ in おおさか

【趣旨・成果・課題】全国的な運動（MAKE the RULE）と連動しながら、地球的規模の温暖化問題を地域の農・山・漁の現場からとらえる集会が開催できました。話題提供者間のつながりができ、コペンハーゲンに向けたうねりをつくるための 09 年度の活動ビジョンを参加者間で共有することができました（事業計画「地球をクールに！」参照）

ネットワーク関係者向け集会でしたが、今後はより多くの参加者が集まるような企画や広報の必要性があります。

【内容】ビデオレター MAKE the RULE 呼びかけ人、北川正恭さん・大木浩さんからのメッセージ

基調報告：加速する地球温暖化と人類の未来 - COP15 コペンハーゲンに向けて -

報告者：早川光俊（OPEN 副理事長 / 地球と大気汚染を考える全国市民会議（CASA）専務理事）

パネルディスカッション：

大阪市漁業協同組合「大阪湾の危機・漁業の行方」

JA 堺市エコ農産物出荷部会「大阪の食の安全は・地産地消の現場から」

大阪府森林組合「大阪府内における林業者の立場から」

(NPO)ONE WORLD for children「市民・企業・行政・大学の協働による環境都市づくり

11.3 さかいっ子環境フェスティバルの報告」

和泉青年会議所「CO2 削減を実行する企業人としての使命」

市民・消費者からの報告と意見交換

会場：大阪歴史博物館講堂

【実施時期】11月9日 13:00~16:30

【参加者】OPENネットワーク関係者・一般府民 40名

(2) 地球温暖化防止や地域の環境保全・創造に向けての情報の収集・発信、調査研究に関する事業

事業名：ホムペジの整備・運用

【趣旨・成果】昨年10月にこれまでのデザインを一新し、OPENの活動内容を整理して個別にページを設けてよりわかりやすく伝達するようにしました。新たに、役員紹介、参加団体一覧ページと個別の事業紹介として「きんき環境館」、「共生の森」、「地球をクールに」、「バスエコファミリー」のページを新設しました。また情報の更新をタイムリーに出来るように、それぞれの事業毎にブログを作成し適宜更新することで情報量を増やしました。また、3月にはイベント情報ページを新設し情報提供力を高め、今後の広報事業展開への足がかりとしました。

【内容】

新設ページ：役員紹介、参加団体一覧、きんき環境館、共生の森、エコファミリーキャンペーン、地球をクールに！inおおさか、イベント情報。

新設ブログ：会議ブログ、共生の森、OSAKAバスエコファミリーキャンペーン、地球をクールに！。

本事業は、広報委員会が担当しました。

【実施時期】1年間

【事業対象者】一般府民

(3) 地域に根ざした持続可能な社会・循環型まちづくり及び環境教育のためのネットワークづくり、情報基盤の整備に関する事業

事業名：環境省近畿地方事務所委託事業 近畿環境パートナーシップオフィス運営管理業務

【趣旨・内容】2008年度は事業計画の中期2年目と位置づけて、2007年度の成果を踏まえ、それまでに構築したネットワークを活用し、パートナーシップによる環境保全活動の促進につながる取り組み、また近畿地区の多様な主体とのパートナーシップを活かす取り組みをつくることを行いました。

本事業は、職員3名(常勤2名)ときんき環境館ワーキング担当理事が担当しました。

1) 環境パートナーシップ担い手充実業務

環境ゼミナールの開催：主に自治体職員を対象とした講座を開催しました。

基礎講座(京都府、奈良県) 連続講座(大阪府で4回)

2) 意見交換の場作り事業

地域でのパートナーシップ促進のためのフォーラム・ミーティングを実施しました。

滋賀県2回、京都府1回

環境省の重点施策等に関する意見交換会、EPO/GEICタイアップセミナー等を実施しました。大阪府2回、兵庫県1回

3) 環境情報の受発信事業

環境情報の収集：情報誌の取材、EPO 連絡会議、事業協力団体などへのヒアリング

情報の発信：HP のアクセス数 233,222、メールマガジンの配信回数 24 回・配信数 2525、
情報誌の発行 2 回、各 3000 部

協働事業：パートナーシップ登録団体（33 団体）、パートナーシップ団体との意見交換会
やスペース利用など環境パートナーシップの輪が広がりました。

館内事業：きんき環境館主催行事の開催をはじめ団体、一般来館者へのフリースペースの
提供、機器の利用、館内閲覧資料の整備、環境関連パンフレットの配架などを実施しまし
た。

4) ESD 促進事業

ESD 促進フォーラムを開催し、啓発冊子を作成しました。

5) 事業運営委員会

きんき環境館の運営にあたり、基本的な方針ならびに事業報告および事業計画を審議する
ために設置しています。運営委員 12 名の構成。20 年度は 4 回委員会を開催しました。

【実施時期】2007年4月1日～2008年3月31日

【事業対象者】近畿圏一般市民・NGO/NPO、自治体職員など

事業名：大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室委託事業

「堺第 7 - 3 区 共生の森づくり活動協働事業」

【趣旨・内容】大阪湾臨海部、堺第 7 - 3 区産業廃棄物埋立処分場跡地（堺市西区築港新町）の
共生の森エリアで市民・NPO・企業・団体・行政が協働しながら約 100ha の「共生の森」
を創生する活動について、2006 年度から引き続き標記業務を受託し、活動の企画・運営・支
援協力などを展開。植栽技術や協働、環境教育の面で、徐々にですが活動が充実してきまし
た。

<橋下知事就任に伴う 2 度の予算編成で事業が 2 期（4 月 - 7 月、8 月 - 3 月）に分かれまし
たが通期として報告>

1) ワークショップ活動 - 毎月 1 回の計 12 回

毎月 1 回（原則最終日曜日 9 時半～16 時半ごろまで）の計 12 回、現地などで、植樹祭、
フィールド見学、草刈り・イベント、鳥類や昆虫、実生樹木生育の観察調査などを行いま
した。森づくり活動の中心・2 月 15 日の植樹祭には総勢 526 人が集まり、約 2000 本を
植えました。

また、ワークショップメンバー（70 名登録）の自立的組織づくりを当初からめざしてい
ましたが、このなかの有志が NPO 法人共生の森を設立しました。

2) 堺第 7 - 3 区産業廃棄物埋立処分場跡地を活用した環境教育プログラムの作成試行

大量の産廃の上で自然環境の遷移がみられる 7 - 3 区において環境教育プログラムを作成
試行することをめざし、ワークショップメンバーとともに 4 回のミーティングを開き、3
月 22 日のワークショップ活動で「トイレをどうする?」、「はっぱのワーク」を実施しま
した。

3) 活動の事前打合せ

昨年度に引き続き、活動の運営会議も毎月 1 回（原則第 2 火曜日）行い、また重要な事項
を協議する企画会議も設けて、活動全般にわたる企画・調整・準備を検討しました。

4) 森づくり平日活動

毎月1回のワークショップ活動ではできない活動を行うため、原則第2火曜日(9時半~15時ごろまで)毎月1回の平日作業も行いました。

5) 森づくり活動を推進していく協議会の準備会を開催

プラットフォーム「協議会」づくりの初期として、この活動では初めて、3月24日、協議会の準備会を開催。メンバーは、ワークショップメンバー、大阪府3部署、堺市2部署、OPEN。

6) 森づくりのPR

11月3日に堺市・泉ヶ丘のビッグアイで開かれた「さかいっ子環境フェスティバル」に参加し、「共生の森づくり」ブースを開設してPR活動、苗木づくりアンケートを実施しました。

7) 広報活動

府民への広報活動については、ワークショップメンバー募集・森づくり活動PRのチラシを1000枚、植栽祭・草刈イベントの案内チラシ枚計9000枚を印刷配布。また4月から3月まで毎月、共生の森づくり活動を紹介するメルマガをメンバーが発行しました。

【実施時期】2008年4月1日~7月31日、8月1日~2009年3月31日

【事業対象者】市民・学校・NPO・企業・団体・行政など

(4) 目的達成に関連する行政や企業への政策提言に関する事業

事業名：市民フォーラム2008「ほんまになるで！E C Oの都市(まち)おおさか」

【趣旨・成果】基調講演では、商都大阪が環境と調和した都市(まち)になるためのビジョンを環境経済・政策の在り方が示され、パネルディスカッションでは、府下で活動する団体およびフロアの参加者から、市民の眼から見た「府政の課題」、「これからの府の在り方」について議論されました。その中で浮き彫りになったのは、地域の課題にとりくむ人の少なさ(関心の低さ)、市民活動の自主財源の少なさでした。

各主体の今後の役割

市民：市民に呼びかける時は、環境分野にとどまらず、広く呼びかけ、地域課題の関心を高めたり、地域への愛着を深めるようにする。

地方自治体：行政評価をして、財政の健全化を図るべきで、社会における施策の優先順位を考えるべきである。

国：社会を環境配慮型にするために、CO2削減ビジネスが進行する政策が必要である。

フォーラムで共有したこと：「市民がもっと大阪府に意見を言っていくべき」

【内容】

基調講演「今こそ考えよう！商都大阪の環境」

惣宇利紀男氏(大阪市立大学名誉教授・現特任教授)

パネルディスカッション「市民の目から見た府政の課題」

末田一秀氏(自治労大阪府職自治研推進委員長)、北川照子氏(NPO摂津市人材サポート・ビューロー代表)、大東弘氏(NPO自然と緑事務局長)、小田忠文氏(NPOすいた市民環境会議 会長)

会場：大阪市立総合生涯学習センター第1研修室

【実施時期】6月15日(日)13:30~17:00

【参加者】大阪府民環境会議会員、一般府民、行政関係者など 50 名

市民参画・行政の各種委員会等への参画

大阪市：なにわエコ会議

大阪府：環境教育等推進委員会(大阪府政改革に係る予算措置の関係で開催されませんでした)

大阪府：省エネ住宅・省エネ家電普及促進協議会

(5) ネットワークへの参加

大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」

特定非営利活動法人「自然エネルギー市民の会」に会員登録

「なにわエコ会議」に会員登録

「MAKE the RULE」: 12月に開催されるCOP15にむけて、市民団体がMAKE the RULEを立ち上げ、CO2削減を2020年までに90年比25~40%削減、2050年には60~80%削減していくために法律制定の署名活動を全国的な展開をしています。

「温暖化防止COP15ネットワーク関西」: 関西において、環境団体だけでなく市民生協等消費者団体や農業、漁業、林業の各組合、地域団体をも含め広範でゆるやかなネットワークで、各地での取り組みを展開しています。

. 総会の開催状況

第5回総会 開催日 2008年6月15日 会場 大阪市立総合生涯学習ルーム(大阪駅前第2ビル)

議案 第1号議案 議事録署名人選任の件

第2号議案 2007年度事業報告・収支決算承認の件

第3号議案 財産目録及び貸借対照表の承認の件

第4号議案 2008年度収支予算承認の件

第5号議案 役員選出の件

第6号議案 定款改正の件

. 理事会・常任理事会の開催状況

理事会

第1回理事会 4月12日

第2回理事会 6月3日

第3回理事会 7月3日

第4回理事会 7月29日

第5回理事会 9月16日

第6回理事会 10月14日

第7回理事会 2009年2月16日

第8回理事会 2009年3月31日

常任理事会

第1回常任理事会 11月9日

第2回常任理事会 2009年1月13日

第3回常任理事会 2009年2月8日

・各委員会の開催

【地球温暖化委員会】

地球をクールに！ in おおさか を実施しました。

温暖化防止 COP15 ネットワーク関西への参加

【自然・里山委員会】

大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室委託事業「堺第7 - 3区 共生の森づくり活動協働」を実施し、担当理事としては3名が時間を割いてこの業務に携わりました。共生の森エリアの生物の観察調査指導や野鳥から見た生息域の環境管理についての話題提供も行き、堺第7 - 3区を活用した環境教育プログラムの作成指導を行いました。

【環境教育委員会】

環境教育委員会を開催しました。 8月30日

LINCS（リナックス型環境共育開発プロジェクト）と協働しました。

その他：「日本環境教育学会運営委員会」に原田環境教育委員長が出席しました。

【広報委員会】

ホームページの更新

ホームページの各ページをリニューアルさせ、適宜運用しました。

ホームページのリニューアル会議

4月16日、5月14日、5月23日、7月17日、7月28日、8月16日（拡大委員会議）

ホームページの運用会議

11月19日、12月22日、1月30日、3月11日